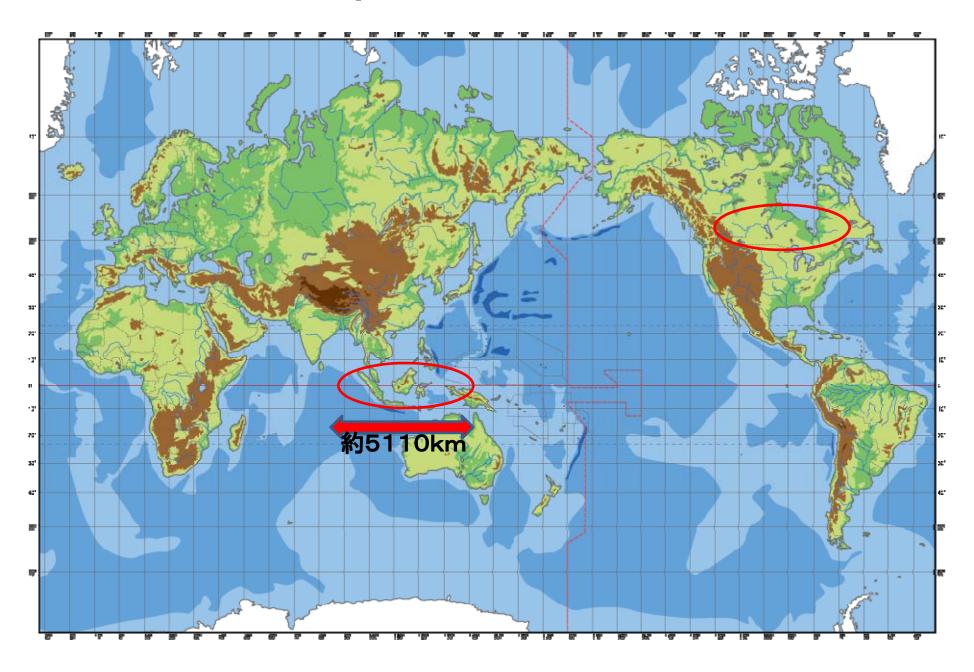
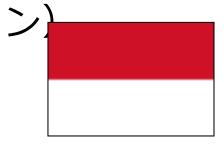


インドネシアはどこにある?



インドネシアはどんな国?

- ・1万8110個の島 (正確な数は不明)
- 東西に約5110km
- ·人口2億300万人(世界第4位)
 - →世界最多のイスラム教徒
- ・300以上の民族と500以上の言語
 - →「多様性の中の統一」(国のスローガ



国旗 (Bendera merah putih)



国章 (Garud a)

スラウェシ島とは・・・・



どんな地域?

- ○インドネシアの東部地域→開発が遅れている。
- 州都マカッサルは新しい空港があり、デパートやホテルもある。
 - →東部地域の開発の拠点
- ジェネポント県はマカッサルから車で約2時間

南へ



ジェネポント県は・・・

☆乾燥がひどく、稲作は年 1 回。

「州の最貧

[県]

→発展していないぶん、

[昔ながらの生ご33/#1





乾季



要請内容

SMPN 1 Arungkekeにおいて、

- ①新カリキュラムに対応した理科/化学実験・ 教授法の指導。
- ②学校内や地域の教科研究会(MGMP)の活性化に向けた活動
- ③教員と協力しながら新カリキュラムに対応した教材開発

必要に応じて SMP 1 Rumbia においても同様の活動を行う。

活動目標

- ① 配属先教員の理科の指導能力の向上
 - ・ティームティーチングによるC/Pの授業の支援
 - ・C/Pと一緒に実験を取り入れた授業案づくり

- ② 学校内や地域の教科研究会(MGMP)の 活性化
 - ・実験技術の向上を目指した学習会開催
 - ・レッスンスタディーの実施

活動の流れ

2008年 8月~12月 2008年度前期 (準備•情報収集期間) 2009年 1月~6月 2008年度後期 (試行期間) 7月~12月 2009年度前期 (発展期間) 2010年 1月~3月 2009年度後期 (まとめ期間)

配属先校の様子

- ・生徒約380人、教員約25人の中規 模校
- ・生徒、教員ともすべてイスラム教徒

・7:30~12:00まで授業 (40分授業を6時間)

・インドネシア語、数学、英 現地語、理科(物理、生物 社会(地理、歴史、公民) 宗教、体育、芸術文化、 などを学習



Mosjid

売店

毎週月曜日の 全校朝礼





自作のキーボードで パソコンの勉強

南スラウェシの踊り を練習



宿題で、パソ コンの模型を 作りました。

学校は自分達の手で・・・

バスケットゴールをみんなで立てて います。





ペンキを塗った教室をきれいに掃 除しています。

2008年 8月~12月(準備・情報収集)

- ① 現地教員の理科の指導能力の向上 CPの授業を見学し、現状把握
- ② 学校内や地域の教科研究会(MGMP)の活性化 12月 郡のMGMP(教科研修会)に参加。





実験道具は…



現地の先生の理科の授業は…



2008年 8月~12月(準備・情報収集)

- ① 現地教員の理科の指導能力の向上
 - 〇実験以前の問題が山積み

そこで、

- 一緒に実験の準備や、授業。
- ・所長訪問、先輩隊員の学校へ出張の機会。→少しずつ活動の糸口を探す。
- ②学校内や地域の教科研究会(MGMP)の活性化
 - ODinas提出の書類をみんなでつくるだけ...

でも、

色々な先生と知り合えた。やる気のある先生も

→一緒に勉強会ができたらな...

2009年1月~6月(試行期間)

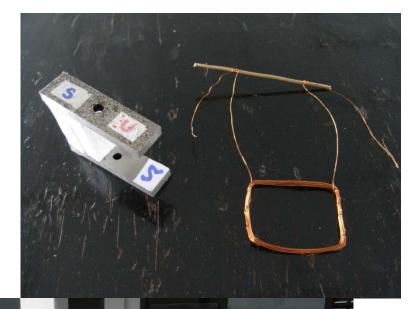
- ① 現地教員の理科の指導能力の向上
 - ・1年生2クラスの授業を担当。
 - •3年生4クラスでティーム・ティーチング
- ② 学校内や地域の教科研究会(MGMP)の活性化
 - -1月~3月 校内レッスンスタディー実施
 - -4月 ワークショップ開催

授業に実験を取り入れよう!



実物を持ち込む







視覚教材の工夫

SKala Neraca Ohaus Empat Tangan

100

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 1009

200g



県内の先生を招いてワークショップ



先生たちが学び合う場をつくっていきたい…

2009年1月~6月(試行期間)

① 現地教員の理科の指導能力の向上

1年生2クラスの授業を担当。

■日本の実践を取り入れるなどし、やりたい授業を試し、C/Pにも紹介できた。

→でも、拙いインドネシア語で、 本当に伝わっているか不安。 CPもだんだん来なくなるし...。

2009年1月~6月(試行期間)

- ②学校内や地域の教科研究会(MGMP)の活性化
 - 1月~3月 校内レッスンスタディー実施
 - •CPをはじめ、理科教員主導で開催。
 - →課題は多いが、お互いに勉強し合うという第一歩に。

4月 ワークショップ開催

- •理数科分科会で実施。
- ・現状把握、ニーズの把握、 実施方法に問題あり。
 - →やったことに意義が…。 みんなで勉強する一例になれば。



2009年7月~12月(発展)の予定が...

① 現地教員の理科の指導能力の向上

アルンケケ:全クラスの物理の授業にTTとして参加。 ルンビア:金、土の2日間通い、同様の活動。 "あくまでも、CPが主体の授業。"

・新年度の日課が決まらない、独立記念日の行事、PUASA休暇などで、活動停滞。

10月ごろからやっと、少しずつ動き出す。→新しく組んだ先生方から少しずつ実験の希望。

2009年7月~12月(発展)の予定が...

②学校内や地域の教科研究会(MGMP)の活性化

他教科の先生にも授業者になってもらい、校内レッスンスタディーの実施。

予算がまだつかない、などの理由で実施できず。→自分のモチベーションもあがらず、活動停滞

2010年1月~3月(まとめ)

① 現地教員の理科の指導能力の向上

引き続き、同様の活動。

アルンケケ:実験を取り入れた

授業もできるだけ、C/P主体で。

ルンビア: LSに向けて、一緒に授業づくり。

C/Pが実験にずいぶん 慣れてきたのでは…

2010年1月~3月(まとめ)

②学校内や地域の教科研究会(MGMP)の活性化

郡のMGMPでレッスンスタディー開始。

始めたばかりで、課題も多いが、勉強し合おうという体制ができつつある。

ついでに、

知り合いの先生を呼んでの実験練習会や、 他の郡のLSでファシリテーター。

いまさらながら、先生方の「学びたい」という意欲を実感。

郡の先生たちと授業研究



意欲的な先生と実験の学習会





私が作った空気の対 流観察装置

ちょっと焦げてしまいましたが...

真似して作ってくれた!

理科室の整備

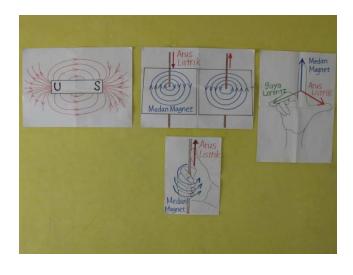


机の配置



準備室

揭示物





活動の成果

- ・配属先校や巡回校の教員たちが、実験に関する知識や技術を身に付けた。
- ・配属先校や巡回校の教員たちが、授業に実験を数多く取り入れるようになった。
- ・レッスンスタディーを通して、教員が共に学び 合う体制ができ始めた。

→しかし、まだ十分とはいえず、継続した支援が必要

活動を振り返って...

く反省>

- •自分の考えばかりを押しつけていたのでは。
- 結局一人でやってしまったことが多かったのでは。
- ・色々な人と交流して情報収集をしておけば、活動に広がりがでたのでは。

<うまくいったこと>

- どっぷりつかると、見えてくるときがあった。
- ・なかなか計画通りにはいかないが、反面、突然のことにも臨機応変 に対応
 - →突然チャンスがやってくることがあるので、 思い切ってやってみると、意外と大きな結果が得られた。

うれしかったこと

☆CPが、

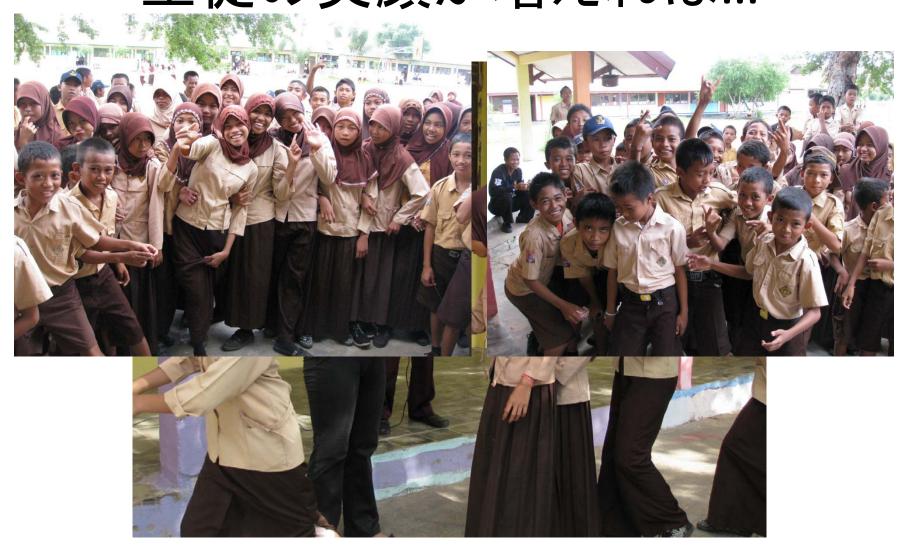
- ベルとともに教室に向かうようになった!
- 学校を休まなくなった!
- •自習課題を用意するように。
- 「私が知ったことを、ほかの先生に伝えていく。」



「物理の授業が好き。」



生徒の笑顔が増えれば...



たくさんの人に支えられて、1年9 カ月、インドネシアでかけがえのな い経験をすることができました。 ご清聴ありがとうございました。









Terima kasih banyak!!